

「ながぐつの土ようび・みどりの森たんけんたい」 5月14日 参加者74名（一般57名）

野鳥のさえずりを聞きながら森や湿地をたんけん。「梅の香ばし」から黄色の花をつけたイタヤカエデや赤い花が咲いているハウチワカエデを観察、湿地ではエゾサンショウウオの卵やエゾアカガエルのオタマジャクシ、カナヘビ、前日に産卵したばかりのトノサマガエルの卵をさわってみた。4月にさわったエゾアカガエルの卵よりもぷるぷるがやわらかい、持ち上げると卵がすぐ分かる感じ。梅の花は6部咲きくらい。



梅の香ばしからの眺め  
上流湿地の木道を散策



ミヤマエンレイソウ、ナニワズ、ヒメイチゲ  
オオカメノキには白い蕾がついていた。



5月のながぐつは  
梅の香り漂う梅林の丘で解散



梅林の丘から ごろごろ



大学生のお兄さんがカナヘビをみつけて、みんなに見せてくれました。



4月に産れたエゾアカガエルの卵が  
すっかりオタマジャクシになっていた。



エゾアカガエルの卵がオタマジャクシになる頃に、いよいよトノサマガエルのお出まし！外来生物で水生昆虫や虫などを食べるので数が増えると大きな問題です。数年前から酪農大が中心になり防除に取り組んでいます。平岡公園のトノサマガエルや卵をここから持ち出して、他の場所へ逃がしたりすると、また別の場所で繁殖するので要注意！公園内からの生物や植物は持ち出し禁止です。間違っって持って行った時は元の場所にそっと返してね。